

日伯新聞

Caixa No. 375 Phone. 2-3926

漸く亂費時代に入る

東京通信によれば、かねて一部の閣員から請願して居た救済資金は、拓務外務省合議の結果、兎も角も百五十万圓だけ出すことになったらしい模様である。...

政界に一波紋を投げた 加藤軍令部長の辭職

不景氣問題、追加豫算、義務教育、軍縮問題、實行豫算違憲、全權自身で不足を抱いて、選挙干渉、綱紀不正問題等、...

グラーツエツペリン 二十五日リオ着即日北行

異様な期待を以て待ち受けられたグラーツエツペリンは、二十五日午後十一時、...

北米への答禮使 次期大統領の鹿島立ち

ジュリオ・プレステス氏が北米旅行を見合せリオで下船した。...

經濟略史

農耕の業始まる。一五〇一年、パウラジルの見出される以前にはヨーロッパ貴族の愛玩用として、...

CASA TOZAN MIZUKAMI & CIA. COMMISSARIOS Rua Cidade de Toledo N. 25

珈琲コミサリオ カイザ東山 ミヅカミ、イ、コムパニヤ

此政策は實に徹底的なるもので、採りも思はず出来ないので、...

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD. (THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)

ヤリラマ ESANOFELINA EMILIO AJROLDI & CIA.

F. S. Hampshire & Companhia Ltd. 母國へ一番早く着く船



文藝欄

眼前口頭

文藝欄 眼前口頭 雨 緑
◎機嫌は一種ののろけなり。快
楽を二重にするものなり。機嫌
あり、故に使むる者なし。機嫌
の味は、人生の味なり。

文詠會

文詠會 (俳句)
モジアナ線モロアグド
「パイネラ」
西紅花
パイネラ花ながらの紅櫻
パイネラ花ながらの紅櫻
パイネラ花ながらの紅櫻

日伯歌壇

日伯歌壇
岩波 治選
文秀
なごやかに風ははれて光りつゝ
あさ澄みたる空の色かも
初秋の空澄み渡る朝風にバスト
の胸の駆けまわりをり
通り雨過ぎたる空に三日月の光
け光りつゝ風の涼しさ
朝の霧いまだはれざる丘の上に
公會堂の屋根かすみ見ゆ
ひんがしの空金色に明けそめつ
背戸のユウカリに群れ鳴く小鳥

募集

募集
和歌 題意 一人二十
一首以内 締切毎月十日
選者 岩波 物二
「草枯一 小春」
一人五句 十五日締切
選者 木村 圭石

浮雲

浮雲
今井白鶴
澄める
秋の眞晝日
浮雲は
澄るやかに流るれど
なごやかに流るれど
なごやかに流るれど

Dr. Arthur de Santis
RUA XAVIER DE TOLEDO, 44
Telep. 4-5135 S. Paulo
紫外光線
産科婦人科
デアテル

尋人
宮本 ぶく
富岡 よね
右兩名の現住所知り度きに付本人又は御存知の向は至急御
一報を乞ふ
昭和五年五月十四日
在サンパウロ
帝國總領事館

Ao Regulador Fox
Rua Quintino Bocayuba, 11
千八三年の開業以來
本店は絶対保証と
絶対責任をもつて各
種時計の修繕を致し
て居ります

シチオ賣物
シチオ
サンパウロ鐵道の樞要に位置し何作
にでも絶好な土地ほんとうの控値同
様に買えます。
照會は
Silva Pinto.
Rua Libero Badaro, 6, S. Paulo.

尋人廣告
本籍 福島縣田村郡要田村
家長 佐藤 睦
大正十二年六月三十日神戶出帆シヤトル丸
本年九月一日着伯
本籍 兵庫縣多郡日置村北島一〇
家長 高井 順一
大正十四年六月卅日神戶出帆河内丸
本年八月卅一日着伯
右二ヶ族に對し船里より音信不通の故を以て消
社に依頼有之候間承知の方は第一報相煩度候
昭和五年五月十四日
海外興業株式會社
Caixa Postal 3015

HOTEL CARLTON
Rua Libero Badaro 26-1.
ホテルカールトン
は何故澤山の日本人方から御
最負に預つて居るのでせうか
市中目撃の場所、日本領事館は左隣り四軒
目、使用人達の親切丁寧、かゆい所に手の届
く豪華客室、室は市内と思はれぬ閑靜で、
しかも清潔、美味いお食事、そして大絶
望のお値段
◎御出聖の際は是非
ホテルカールトンへ

シチオ賣物
シチオ
サンパウロ鐵道の樞要に位置し何作
にでも絶好な土地ほんとうの控値同
様に買えます。
照會は
Silva Pinto.
Rua Libero Badaro, 6, S. Paulo.

Sociedade Colonizadora do Brasil Ltda.
Rua Alvares Penteado, 30 - 2.º And.
Tel. 2-1342 - Telg. Ijurenco
CAIXA POSTAL, 2975 - SÃO PAULO
土地分讓案内
一、バスター、チエテ兩移住地とも、いつでも土地を分讓します
一、ハガキでお申込下されば案内書を差上げます
一、兩移住地とも視察を歓迎いたします
一、意本年度入植開拓の適期近づきつゝあり。バスター、チエテ兩移住地とも宿所、販賣店、醫局等の設備
既に成立し居り、製材所、煉瓦工場等も既に活動しつゝありて入植者に多大の便利あり
一、兒童の教育は目下假校舎にて行はれつゝあるも近く本校舎建築に着手す
一、バスター移住地は現在入植者及従業員家族合せて百三十三家族、人員總數七百二十六人に達し既に植民地
の形をなせり。交通は本年度よりはランシヤヤ路經由となし新道を利用し得べく爲に際よりの距離に於
て拾餘軒の短縮となるべし。本年度の分讓地は中心地附近なり
一、チエテ移住地の地味肥沃なることは説明の要なるべく、評判のマレットも昨年度入植者の例によりて見
れば殆ど心配することなし。本年度の分讓地は昨年度入植地域の接續地にして第一區の範圍より始む
一、バスター、チエテ兩移住地等に在伯邦人よりの入植をも歓迎す
視察者には便宜を計り、端書にてサンパウロ事務所へ申込まれるれば案内書を送呈す

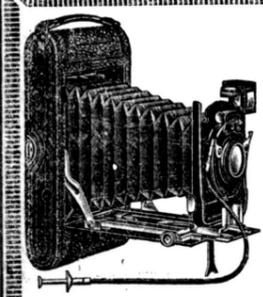
Cia. Brunswick do Brazil.
Rua Ypiranga, 14-C, Tel. 4.6237
End. Teleg. "BRUNSWICK" - S. PAULO
ブランスウィック印
玉 突 玉
モナーク 玉
タペーラ 玉
玉突兼用パンノ
タッコ用ソーラ
純象牙製 玉
及模倣品
は用脚の切一品屬及び臺突玉
會商クイウスラブ
いさ下用脚法便の賣取賦月

COFRES NASCIMENTO
NASCIMENTO & FILHO LTDA.
Deposito e Escritorio Rua Quintino Bocayuba 41.
Fabrica Rua Dr. Ricardo Gonçalves 7 a 13.
金庫
堅牢無比
當店の金庫製作所
は已に四十年の經
験を持ち、當市一
流の銀行、會社の
御用を承つて居り
ます。
五百ミルレ以上各種
何れも十二回拂ひ
その他古物もあり
同じく十二回拂ひの便
法を設けて居ります
一 營業案内書送呈

Theodor, Wille & co.
Rua Libero Badaro 5 2.S. Paulo
deposito R. Domingos Paiva 66/70.
MERCADO DE PINHEIROS
肥料
諸君は馬糞、トマト
をもちてすか？諸君は
に肥料を吟味せねばならぬ
御肥料を吟味せねばならぬ
御肥料を吟味せねばならぬ

大商船株式會社
早くて確實な
優秀の大型客船
(命令定期毎月一回)
日本へ
六月三十日 サントス發
七月二日 リオ發
フエノスアイレス丸
六月廿九日 サントス發
ANTUNES DOS SANTOS & CIA.
S. Paulo - R. Barro de Ipanema, 30-41-A
Santos - Rua do Comercio, 84
日本より家來御寄附の方は、東京、神戶、大阪、長崎、
(日本) サントス、リオ、フエノスアイレス、
○詳細は左記(御照會)願ひ。
サントス駐在員 酒守 守





**DUARTE & SALERNO**  
 RUA S. BENTO, 19  
 SÃO PAULO  
 Caixa Postal, 2182  
 Telephone 2-6318

**寫眞機**

並に附屬品、材料一切は  
 最も信用ある當店の  
 直輸入品に限ります  
 「アグファ」  
 「インペリアル」印乾板  
 「ブラジル」  
 コダック「會社代理店」  
 ドアルテ・サレルノ商會

現型  
 引延し  
 進呈

**Armour**   
 Armour of Brasil Corporation  
 FRIGORIFICO - S. PAULO  
 Alameda Clevelando, 34-A Villa Anastacio (Lapa)  
 CAIXA POSTAL, "1" - S. PAULO

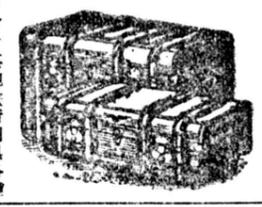
**肥料界の覇者  
アルモール**

アルモール印肥料 (Adubo Armour)  
 窒素含有量 六%  
 三百四十銖 (一噸に付き)  
 屠殺殘物肥料 (Adubo Frigorifico)  
 窒素含有量 四・五% 骨燐含有量 一八・二八  
 三百三十銖 (一噸に付き)  
 乾血肥料 (Sangue Secco)  
 窒素含有量 十一%  
 五百銖 (一噸に付き)  
 骨粉 (Farinha de Osso)  
 二百九十銖 (一噸に付き)

貸自動車は同胞運轉手の居る  
**Garage Congresso**  
 Teleph. 2-0081  
 2-0061  
 ガラージ・コングレソ  
 電話 二〇〇八一。二〇〇六一  
 プラツサ・ジヨソメヂス



**F. Ambrosio & Cia.**  
 Rua José Bonifacio, 39  
 Phone 2-1298 - Caixa, 752  
 SÃO PAULO



カバン 其他旅行用具各種

皮事、ぬめし度、履物、

**CASA DAS SEMENTES**  
 Carlos Corradini  
 Rua S. Caetano 42 - São Paulo



**新種子**

野菜、花卉の優良種子が澤山到着致しました  
 當店の種子は歐洲各地よりの直輸入品で充分  
 な精製  
 を經た  
 發芽保  
 證付の  
 品であ  
 ります  
 特にか  
 ナリヤ  
 種、ア  
 ルセン  
 チン種  
 のセボ  
 ラ種子  
 は優秀  
 なるも  
 のであ  
 ります  
 各種子共安價に考上ります。百餘種の輸入、時  
 付季節付法のくはしい説明付のカタログ御申  
 越次第を呈。

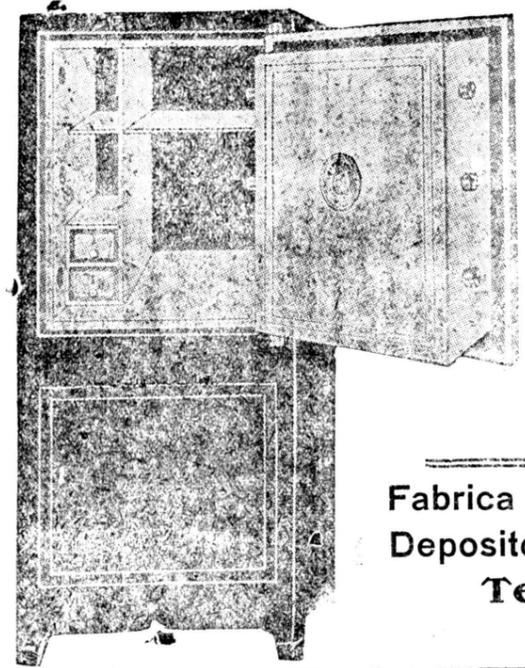
**ZERRENER, BÜLOW & CIA. LTDA**  
 SECCAO TECHNICA

製氷機「リン  
 デー」、H M  
 G 印重油モートル  
 製罐機、製材機、  
 ポンプ、マンティ  
 ガ製造機一式、ブ  
 リキ、鐵材、裁斷  
 機、精米機「ブラ  
 ジル型」、洗濯機  
 械、煉瓦製造機、  
 VOMAG 印  
 カミニヨン

部作工會商一ローユビルネンレエツ  
 RUA MAUA, 279 - 283 - S. PAULO

**COFRES, ARCHIVOS E PRENSAS "BERNARDINI"**

**Ugo Bernardini**



金庫 文庫 プレックス  
 金庫 文庫 プレックス  
 類一式

に間社會大行銀るな要主國當  
 すより居てし博を評好  
 達用御社會業與外海

Fabrica Rua Oriente, 187 e 189  
 Deposito Rua da Quitanda, 16  
 Telephone 2-1414  
 São Paulo

絹の愛を裏切り、山の人々の誓ひの言葉に反して山を捨てた男の裏切りに對する反逆、苦い失戀の悲しみは、山の娘を産んだ。

男の娘を追うて山を下つた。それから再婚のお絹と異名をとる程に悲事を重ねた。よつぐらとした肌には蛇の刺青が刻り込まれた。その刺青で脅迫して多くの男達から金を絞つた。放火強盗一かどの悪徳となつて六人の乾分の手足のやうに動かす程になつた。

初戀を滅茶苦茶に蹂躪された彼女は、その二倍も三倍もの烈しさであらゆる男性を踏みつけて復讐して来たのだつた。

「ね、藤吉を呼んでお呉れ」

「へい」

乾分が引下ると入れ違ひに藤吉が這入つて来た。お絹の片腕とも云はれる乾分であつた。そして十日前に、荒仕事に出かけて肩を斬られバンリッドにひそかな治療を受けた男である。

「お歸んなさい」

「どう？ もう大丈夫？」

「やつと人間並の身体になりました。お禮を云ひます。毛唐人の醫者の薬はよくききます」

「さうだね」

「腕一本、駄目にするのかと思ひましたよ」

「わたしも心配したよ。よかつたね」

「ねえさん、どうせなくなる筈だつた腕だ、お役に立てませうぜ」

「有難う。では床上げ祝ひだ今日は吞まうぢやないか」

「結構だね」

酒の仕度が始まつた。その頃、自殺クラブの地下室には、ひそかに集つた醫師達の手により屍體は解剖されてゐた。それは現世における怖ろしい地獄圖が繰ひろげられてゐるやうなものであつた。

製薬分拆  
衛生セック發賣  
其他一般薬品の御用命を

日本薬局  
パウルスタ線マリアア  
サンルイス街郵箱二七

Y. KINJO  
CIRURGIÃO DENTISTA  
Rua Vergueiro, 125  
TELEPH. 7-3384 - S. PAULO

金城山戸  
歯科醫  
聖市  
グエルダイト  
一二三

CLINICA DENTARIA  
R. Conde Sarzedas, 9 - Tel. 2-3029

院醫科齒  
郎一眞上村  
九スグイゼルナヂヂヂコ市聖  
番九二〇三二二話電  
(ひ向筋店南矢中)

Casa Uehara  
賣販貨雜及品料食  
◇ 達用舞者國舞 ◇  
店商原上  
六十ロブンテツセ・デ・アツセ・ゴルラ  
四〇八一話電 市ストンサ

料理御前戸江  
【粉汁お日土】

ぎやをあ  
番三十三上坂  
八四九一〇二

鶴  
油醬等上

並に上等味  
多少に拘はらず御用命下さい  
アゼベード・ジュニオール一六  
大野鶴龜醸造所

菊地寛全集 送料共各  
短編小説現代篇、時代篇、説  
曲集、受難華、第二の接吻、  
新珠、真珠夫人  
遠藤商店  
Caixa, 2678 - S. Paulo

通關手續取扱事務所  
主任 小淵友市  
Rua Senador Felio, 475  
Caixa, 657 SANTOS

安い店は  
日の出  
内外雜貨物及農産物仲買  
ラルゴド・メルカド  
阿久根國雄

武田商店  
運農雜貨物仲買  
北巴拉ナの土地  
を世話致しますから御希望者  
は白岩旅館にお出下さい  
測量師 齊藤欽作  
カンパラ郵箱一五八白岩旅館内

子 防迫菓子店  
聖市 フレステイロ  
五番

家庭用風呂  
製造販賣  
ブリキ、トタン細工御好みに應ず  
聖市コンデサル  
ゼーグスル七番 木村

時計 販賣並に  
計時 時計修繕  
聖市コンデサル  
アゼベード・ジュニオール一六  
佐古田亀藏

各種洋酒飲料水  
各種洋酒飲料水  
ボニール  
仙臺屋 飯沼重郎兵衛  
聖市イルマン・シオン  
ブリシアンナ街二〇A

コンデ 四九  
とうふ  
もりした

HOTEL PAZ  
Praça José Bonifácio, 51  
SANTOS

ホテル 平和  
館主 小淵友市  
大阪商船切取次所

成功館 古謙將義  
電話二〇〇八  
大坂商船切取次所  
カントス市ラルゴ・メルカド・セテンノ一五

M. HARADA  
ENGENHEIRO  
建築 設計 製圖 土地測量 道路設計  
公認建築技師 原田政平  
Rua Barão de Panamapicaba 11  
9 and. 4es Tel. 2-3564 São Paulo

御旅館並御料理  
伊勢屋 瀬川  
ノロエステ線ペンナ驛カフエランディア町

CASA JAPONESA  
GUARANTAN  
村上商店  
グアラランタン驛

北巴拉ナ珈琲地帯  
Kafé Usual, Caixa, 140 Guarantã, E. F. S. P. A.

播種機並に農具一式  
カタンツバ市  
製造所 中井工場

NAKAI & FILHOS  
Caixa Postal, 486  
PHONE 101  
CATANDUVA

東洋旅館 梅田金次郎  
貸自動車八三番  
パウルスタ線マリア、アア  
ル・サンルイス

Hotel S. Paulo  
Rua General Osorio, 24  
TEL. 390  
Ribeirão Preto

御旅館 サンパウロ  
を泊りの節は  
を休め心地のよい、そしてコミンダの  
を以て心ゆくまで御用命を  
は白岩旅館にお出下さい  
測量師 齊藤欽作  
カンパラ郵箱一五八白岩旅館内

時は今  
金儲け成功を欲せば  
盲動を避け社会に明るき努力を  
賢明なる一新大統領は生れたり  
内外必趨の諸事を知らんご欲せば  
弊店代理販賣の「大坂毎日新聞」を御購読あれ、購読料  
一ヶ月分僅か百二十ミルレウスなり  
熱帯地に安住して家外に働かんご欲せば  
弊店一手特約販賣の蛇頭石一ヶを必ず御携帯あれ  
除毒蛇頭石 主治ドク風、毒犬等に咬まれたる時に有  
効用法 實物に添付定額送料共八ミルレウス  
人類健康を欲せば  
お馴染みの母國食料品を御常食あれ  
美味しき料理の調味を欲せば  
弊店特約販賣の藤澤醤油を専所に備付けられ  
經濟本位に行なわんご欲せば  
論より證據豊富で諸品を提供する弊店を御利用あれ  
其の他便利有益の品々  
葡萄、和菓、農産物種子、賣藥、化粧品、小間物、  
金物、内外文具用品各種  
是非一度奮つて御試みの程を  
聖市イルマン・シオン・アア街三〇 郵箱二〇A  
直輸入商 羽瀨商店  
日本式マロン及素麺の御注文は左記へ  
巴拉ナ州カンパラ市 郵箱一〇六  
羽瀨製麵所へ

最新式  
型洋服  
町嚀で  
期限確實

シミーガンシ  
販取  
取次

石井洋服店  
（内店商保久）店支ロトスチレ  
任主  
松 德 崎 宮

調味の王  
日の出醤油  
食のすまぬ暑さの折に  
お臺所に日の出醤油の一瓶は  
お奥方の唯一の味方

日本品商 中矢商店  
直輸入商  
電話 函 二二二〇七番  
電話 二二二〇七番



# 低資、低資百五十萬圓

## 約半歳の月日を経て 救済と先づ決定

ブラジル現存の低資は約半歳の月日を経て、サンパウロ州に現在日本移民は四千五百家族の多きに及び、その所有土地は十五万一千町歩、その価格は二百五十万圓である。然るにその財産の半分は悪徳なる地主又は高利貸のために奪取され、生活に困窮を来たした状況に至つた。従つて何等かの方法によつて救済しなければならぬ。これが日本に於て松田首相のなした閣議への報告である。

# 大満悦の鐵道大臣

## 感謝された日本人

鐵道大臣コンドル氏は二十日早朝、同大臣は變更線工事の進捗より、朝マコトグロウツ州よりルソンに驚き野村、秋永組の仕事に満ちた大満悦の表情を呈せられた。彼等は、右を見れば、野村、秋永組の進捗が、左を見れば、日本人の進捗が、同大臣の心を占めてゐる。同大臣は、野村、秋永組の進捗が、左を見れば、日本人の進捗が、同大臣の心を占めてゐる。同大臣は、野村、秋永組の進捗が、左を見れば、日本人の進捗が、同大臣の心を占めてゐる。

# 東山のソロ線進出

## 代理人の活動開始で潤ほひ 農民はホット一息

昨年来不況を続けてゐる東山、此處で東山と潤ほひの金が、前年より更に増え、農民はホット一息をとり、活動を開始してゐる。東山のソロ線進出は、農民の生活を救済するに役立つ。東山のソロ線進出は、農民の生活を救済するに役立つ。東山のソロ線進出は、農民の生活を救済するに役立つ。

# 野村、秋永組再請負

## 更に延長百十基米突

野村、秋永組の鐵道工事はこの地域は最も進捗が速い。更に延長百十基米突。野村、秋永組の鐵道工事はこの地域は最も進捗が速い。更に延長百十基米突。野村、秋永組の鐵道工事はこの地域は最も進捗が速い。

# 伯國視察

## 南拓重役の 智利から西國を経て来た南拓の手

# 不景氣の聲をよそに

## 景氣良い催し物二つ

不景氣だ、不景氣だ、とばかり言ふ中、六六歳以上の老人は、少くも大部分が若人達に占められてゐる。一行の中には、野村、秋永組の進捗が、左を見れば、日本人の進捗が、同大臣の心を占めてゐる。

# 動き出した

## 聖市野球界

昨年アリアンサ遠征軍を迎えて、聖市の野球界は、活動を開始してゐる。聖市の野球界は、活動を開始してゐる。聖市の野球界は、活動を開始してゐる。

# 郵船では

## 記録破り

三月末日故國の春を後にした神奈川丸は、記録破りを達成した。三月末日故國の春を後にした神奈川丸は、記録破りを達成した。三月末日故國の春を後にした神奈川丸は、記録破りを達成した。

# 難問題解決

## 海外興業株式會社

難問題解決。海外興業株式會社。伯國支店。C. P. 3015 S. Paulo。難問題解決。海外興業株式會社。伯國支店。C. P. 3015 S. Paulo。難問題解決。海外興業株式會社。伯國支店。C. P. 3015 S. Paulo。

# 賣シチオ

賣シチオ。中央線モダス・クルーズ。賣シチオ。中央線モダス・クルーズ。賣シチオ。中央線モダス・クルーズ。

# 翻譯法律

## R. Jaguibe, 66, S. Paulo

翻譯法律。R. Jaguibe, 66, S. Paulo。翻譯法律。R. Jaguibe, 66, S. Paulo。翻譯法律。R. Jaguibe, 66, S. Paulo。

# 杉山英雄

杉山英雄。Caxa Postal 2075。杉山英雄。Caxa Postal 2075。杉山英雄。Caxa Postal 2075。

# リンス案内

<b>笹田醫院</b> 郵 函 二〇二 田中鐵工所 郵 函 二〇三	<b>青木商店</b> 郵 函 一三七 大西自動車工場 郵 函 二〇三	<b>オリエント</b> 郵 函 二〇三 本田寫真館 郵 函 二〇三	<b>サロインジエニコ</b> 郵 函 二〇三 伊藤裁縫講習所 郵 函 五〇	<b>矢部洋服店</b> 郵 函 二〇三 山中齒科醫院 郵 函 二〇三	<b>川原療院</b> 郵 函 二〇三 武田商店 郵 函 二〇三	<b>福田屋</b> 郵 函 二〇三 製米所廣木合名會社 電話 三三三 郵 函 二〇三	<b>パールキチセ</b> 郵 函 二〇三 ホテル三井 郵 函 二〇三	<b>森部一衛</b> 郵 函 二〇三 佐納製菓所 郵 函 二〇三
--	--	---	---	--	---	--	--	--

# NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonês de maior circulação no Brasil

Anno XVI

São Paulo — Quinta-feira, 29 de Maio de 1930

Num. 678

## Noticias e telegrammas do Japão

(Serviço especial do NIPPAK SHIMBUN)

### Grande raid entre Japão-Siberia, por um avião japonês

TOKIO, abril — O avião Ni-azi iniciará, em princípios de Junho, um grande raid entre Japão e Siberia, via Europa, pretendendo, na volta, voar de Tokio a America do Norte, por sobre o Pacifico. Caso não sobrevenha algum incidente, será esta a primeira travessia do Pacifico, em aeroplano.

### 250.000 familias niponicas virão para a America

TOKIO, abril — Segundo propala a imprensa local, o Ministerio de Agricultura e Emigração, pretende enviar para a America do Sul, 250.000 familias japonezas para formar uma colonia que se dedicará á plantação de algodão, o qual será exportado exclusivamente para o Japão, evitando, assim, a saída de centenas de milhares de yens para o estrangeiro.

os fortes treinos realizados não nos é dado prever qual sahirá vencedor da importante pugna.

### Demissão do chefe do estado maior da Marinha

TOKIO, maio de 1930 — Ao ministro da Marinha, sr. Takarabe, apresentou sua demissão de chefe do estado maior da Armada, o almirante Kato, dando como razão a falta de garantias para a segurança do Japão, resultantes do tratado de Londres.

### Universidade Collectiva de Agricultura

Experiencia nova na Russia

TSURUGA, abril — Como o unico meio capaz de resolver a dificuldade de abastecimento, o Governo Sovietico da Russia está se esforçando com todo o recurso para a organização e ampliação do trabalho colectivo, e ultimamente inaugurou, na cidade de Segráff, para formar dirigentes do mesmo, uma Universidade Collectiva de Agricultura, um genero novo no mundo.

A matricula será feita com os filhos dos colonos parceiros pobres e de lavradores mediocres, tendo quatro cursos de Fazenda Collectiva Agricola, fundação sovietica, Agricultura mediocre e Pecuaria, que serão feitos em 3 annos, sendo de 400 o limite do numero de alumnos matriculados.

### O Dirigivel "Conde Zeppelin" no Rio

A grande aeronave não passou por São Paulo, como era esperado

Conforme o programma traçado pelo cap. Eckener, ás 23 horas de sabbado ultimo, o "Graf Zeppelin" appareceu no horizonte estrellado, em direcção ao Rio de Janeiro, onde era esperado por immensa massa compacta de populares de todas as classes, sexos e nacionalidades.

Depois de evoluir, magestosamente, durante a noite, por sobre a linda Guanabara, a collossal aeronave, orgulho dos allemães, ás 6 1/2 horas da manhã, amerizou no campo dos Afonsos, entre os vivas e applausos da enorme multidão que, ha dois dias, esperava, com ansiedade, a chegada do formidavel dirigivel.

E nós, os paulistas, depois de uma noite de expectativa, depois de andar dois dias com os olhos voltados para as alturas, como a procurar qualquer coisa invisivel, fomos logrados! O "Conde Zeppelin", após curta permanencia no Rio, zarpou, rumo á Recife, deixando-nos a ver visões e, apenas, com a esperanza de vê-lo... em cinema...

### DR. S. TAKAOKA

MEDICO-OPERADOR  
Rua Fagundes, 8  
Tel. 7-4683 S. PAULO

## A Reconstrução de Tokio

Para concluir a obra de reconstrução da cidade, o governo japonês, terá que contrahir um grande emprestimo.

Ainda são habitadas 200 mil barracas de madeira, construidas após o terremoto de 1923

TOKIO, Maio 1930 — Embora esta cidade tenha celebrado, ha dois mezes, a conclusão dos trabalhos de reconstrução, exigidos pelos estragos produzidos pelo violento terremoto que a succidiu, em Setembro de 1923, parece necessario contrahir um emprestimo de 300 milhões de "yen", ou seja, cerca de 150 milhões de dollares para terminar na verdade, a execução do programma traçado depois da terrivel catastrophe.

Esse é o unico recurso, pois, dada a depressão dos negocios aqui verificada, não é possivel impôr á população novos impostos. Esse emprestimo de 300 milhões de "yen" elevará as despesas da reconstrução a 600 milhões de "yen", sem que varios districtos da cidade estejam de facto reconstruidos. Até agora, o governo já despendeu 800 milhões de "yen", sem contar a somma acima referida, que representa apenas a parte da cidade de Tokio, nas obras.

Os technicos dizem que a cidade terá que pagar toda essa quantia em trinta annos, como foi originalmente combinado, pelo que te-

rá de desembolsar, annualmente, vinte e trez milhões. Dessa somma annual, dezeseis milhões serão destinados ao governo imperial. Apesar de já estar despendido esse dinheiro, as autoridades municipais acham que é necessario ainda gastar 300 milhões de "yen", para melhorar o calçamento das ruas e para outros trabalhos de reconstrução, nos districtos suburbanos.

Um recente inquerito provou que cerca de 200 mil barracas de madeira, construidas por occasião do sinistro, para resolver o problema da habitação, ainda se acham de pé

**I. SHIOKAWA**  
UNICO IMPORTADOR DA PORCELLANA MARCA *Nortitake*  
SÃO PAULO  
R. Brigadeiro Tobias, 66 e 68-B  
TELEPHONE 4-9387  
CAIXA POSTAL 1796  
End. Tel. "ELNIPPON"

**DR. Y. KIKUCHI**  
MEDICO  
REGISTRO — IGUAPE

**NIPPAK SHIMBUN**  
Propriedade e direcção de:  
**SACK MIURA**  
Redacção, Administração e Officinas  
Rua da Liberdade, 146  
Caixa Postal, 375  
Telephone, 2-3926  
Endereço Telegraphico "NIPPAK"  
SÃO PAULO — BRASIL

ASSIGNATURAS  
Para o Brasil:  
Por anno . . . . . 30\$000  
Por semestre . . . . . 16\$000  
Numero avulso . . . . . \$500  
Para o Exterior:  
Por anno . . . . . 60\$000

ANNUNCIOS  
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha. Telephone 2-3926

EDIÇÃO DE 8 PAGINAS

Tomikô se levanta ás seis horas. Durante o inverno, ella de boa vontade ficaria deitada mais um pouquinho, mormente quando, erguendo as "shojis" (janellas de tela, guarnecidas de papel), vê que o jardim está branco de neve; mas, á mesma hora, sua mãe se levanta, e Tomikô não pode absolutamente deixal-a só com os creados, tratar dos arranjos caseiros e do almoço.

Agora, é a primavera; e si o jardim está todo branco, é porque as flores das cerejeiras estão perdendo suas petalas. Abrindo todos os "amadôs" (cortinas), Tomikô não pode deixar de sorrir para a manhã radiosa.

Tomikô está em vestido de dormir, ou "nemaki". Não existe no Japão vestimenta propria para dormir. O "nemaki" é um vestido que não pode mais servir para o dia, porque já está muito "hadê", isto é, muito visto. Á medida que uma japoneza vae fazendo do annos, veste kimonos cujas cores são cada vez menos vivas. Porisso é que Tomikô deixa agora os vestidos vermelhos e brancos de dois annos atrás, de quando ella era pouco mais do que uma creança.

Por cima de seu "nemaki", a mocinha veste uma especie de "mantau" (havri), porque o tempo está frio. Ella dobra cuidadosamente todos os seus "futons", pannos finissimos que compõem toda a sua roupa de cama, e faz que elles desapareçam dentro de um cesto. O quarto é vasto, nitido, arejado. Tomikô pode agora tomar o seu banho. Ha uma sala de banho em toda habitação japoneza. Tomikô toma especialmente o cuidado de bem lavar o pescoço, ainda branco de pó de arroz.

Uma observação: as mulheres das cidades — as de Tokio, por exemplo — não têm pó de arroz na face mas somente no pescoço, que surge, leitoso, da abertura do kimono. Ellas se differenciam nisto das mulheres do campo, que o fazem no rosto, esquecendo o pescoço, o que lhes ocasiona um certo desprezo de parte das cidadinas.

Voltemos a Tomikô. Ella molhando conscienciosamente os altos coques de seu cabelo, que a noite desarranhou um pouco — tão pouco! Ella se levanta e os arranja, no meio de uma verdadeira colleção de pentes de osso; e bem depressa elles se apresentam bem brilhantes e construidos, e tão impecaveis como ha dias, quando ella sahiu, contentissima, da casa da cabellereira. Em seguida, Tomikô se empôa, ennegrece as sombrancelhas, veste-se e ata bem alto o largo cinto chamado "obi", sem o qual não pode haver uma "tenue" decente.

Bonita, um pouco receiosa e apressada ella vae levar os jornaes a seu pae, que dorme ainda. Ajoelhando-se, ella apoia sobre o "tatami" dois dedos de cada mão, inclinando a cabeça:

— Bom dia, meu pae!

O pae responde por um resmungo e logo a jovem corre para perto do sua mãe, que já está de pé e diante da qual ella se prosterna também. Uma voz chama:

— Tomi! Tomi!

É a voz do irmão mais velho.

— "Nani"? responde Tomi "quer dizer: que é que ha?".

Depois de ter saudado a seu mano, como a seus parentes, ella lhe reprova a preguiça:

— Ainda deitada, "nisan", quando mamãe já se levantou ha tanto tempo!

— Tomi, responde o rapaz, como você é uma boa filha, você vae me dar um cigarro acceso, e prometto que me levantarei quando acabar de fumar-o.

Tomi dá o cigarro acceso.

Ella vae, em seguida, ao "butsudan", especie de pequeno altar familiar; ella queima ali grãos de incenso e leva, para as almas dos seus antepassados, agua e arroz sufficientes para o dia.

Ella almoça, afinal, com sua mãe, mas só depois de ter ido saudar o pae uma segunda vez e dizer-lhe:

## O dia de uma jovem japoneza

MITSU SHIMOYAMA

Mitsu Shimoyama é uma escriptora japoneza, filha de um membro do corpo diplomático, que viveu e se educou em Paris. Ella enserra suas palcias com olhos de occidental — embora também obliquos...

— Perdoe-me de almoçar antes de vós.

Em uma pequenina caixa de laca vermelhas, ella põe os seus "tsumés", laminas de marfim que servem para tocar o "koto" — especie de harpa horizontal, que as moças da burguezia aprendem á tocar.

— Mamãe, diz ella, deixa eu ir á minha lição de koto.

E ella sae. Desde que têm idade para ir á escola, as moças japonezas saem sozinhas.

\*\*\*

Uma hora depois, ella volta.

— Mamãe, cheguei.

E dizendo isso, ella se inclina. Põe-se logo a preparar o "bento", para si e o mano. Que é o "bento"? É uma caixa de madeira ou de metal branco; está cheia de arroz; e sobre o arroz, dispoem-se, com gosto, legumes ou pedaços de peixe cozido. O "bento" representa uma refeição, almoço ou jantar.

—Nisan, eis vosso "bento".

—Obrigado

—Mamãe, vou á lição de costura. A senhora não quer nada?

—Não. Póde ir.

Com seus passos meudos, ella vae, pelo dedalo das ruas, meio creança, meio mulher, a cabeça sem pensamentos profundos, o coração sem se perturbar. Ella se preocupa unicamente si o "obi" dessa moça que encontra não está mais bonito do que o seu; e, como só possui uma sombrinha japoneza, lança um olhar de desejo para a vitrina que exhibe um guarda-chuva europeu, em seda, — um guarda-chuva que toma, quando aberto, o aspecto de uma taça voltada.

Tomikô chega á casa da professora.

—Bôa manhã! diz, saudando.

Ha uma dezena de allumnas frente ella, assentadas, isto é, ajoelhadas, em circulo, sobre os "tatamis". Algumas são ainda creanças, que a queda de uma folha sobre o seu kimono faz morrer de rir. Outras, são já mulheres; e algum pesar marcou-lhes o rosto de uma ruga imperceptivel.

—Vocês foram ver as cerejeiras?

—Sim. Hontem.

—Estava bonito?

—Bonitissimo. Porém havia muita gente e muita poeira.

Dizem-se coisas dessa importancia na pequena roda em que Tomi está. Em um grupo, as mais traquinas não podem conter o riso. A mestra lhes manda um olhar severo. Logo, silencio completo, applicação ostensiva. Numa outra roda:

—Olhem aqui, eu fui hontem de novo ao Theatro Hongo.

—Que sorte. Eu só vou uma vez por mez.

—E tive o prazer de ver representar Ka San. Como aquelle homem é bonito!

—Sim. Mas prefiro Sadao San, que é maior e mais delicado.

\*\*\*

Ao meio dia, todas desenrolam o gracioso embrulho, feito de algodão estampado, contendo o "bento"; munem-se de varinhas de madeira branca, que tiram, intactas, de envulvocos de papel de seda;

e comem, com uma graça, uma elegancia e um geito tao os kimonos nem os tatamis apresentam, depois, um

E como o pão não entra na refeição japoneza, nunca

O almoço é liquidade depressa. Mas, antes da primeira

ção, cada uma disse ás outras:

—Desculpem-me.

As quatro horas, o trabalho termina. Metade cortados, e

cosidos, haoris, obis e kimonos são cuidadosamente dobrados, arrumados no cesto.

As cabeças inclinam-se com respeito diante da professora; os pés com meias brancas, entram com agiidade nas "ghetas" deixados á entrea da casa; e o ramalhete de moças se desfaz nas ruas. Cada uma toma o caminho de casa, descuidada e pueril, — pelo menos na apparencia.

\*\*\*

Tomikô se afoba; janta-se na casa della ás cinco horas e é preciso ajudar mamãe.

—Cheguei, mamãe. Demorei?

—Não, Tomi. Você não demorou.

E, pouco depois:

—Papae, vinde jantar. Nisan está na mesa.

Tomikô traz o garrafão de porcellana branca, que lhe queima os dedos e que contem o "saké". O pae bebe "saké", ao comer, de tarde. O "saké" é alcool de arroz, que se bebe quente numa taça pequenina. Elle fica vermelho, e até brinca, ás vezes. Pergunta ao filho si já revelou as chapas photographicas, batidas, no dia anterior, no "match de foot-ball" e nas alléas das cerejeiras do parque de Ueno. Dá-lhe bons conselhos e uma taça de "saké", — uma só. Elle revela, também, á sua mulher, algumas apreciações sobre os homens com que tratou, durante o dia, sobre negocios. Depois começa a roncar.

\*\*\*

A um signal de sua mãe, Tomikô se ergue, leva os pratos á cozinha, põe a sala em ordem, focha os "amadôs".

—Tomi, papae mandou perguntar si você quer ir passear comigo e elle.

—Mas, sim! Que bom. Mamãe não vae?

—Não. Ella disse que quer descansar.

Tomikô sae, entre seu pae e seu irmão. Aonde irão? Ao grande "boulevard" de Giuza, onde ha tantas vitrines resplandecentes, onde se ouvem as ultimas noticias pelo T. S. F. e onde os largos passeios estão cercados por hospedarias? A Asakusa, quartier das diversões, feira permanente, com pequenos theatros, cinemas, barracas de jiu-jitsu, confeitarias, negociantes de fritadas, soldados e camelots de todos os feitios? Ora, não. Olhem que ha luar. Um luar justamente na occasião em que as cerejeiras estão floridas. Que maravilhoso offercimento!

Elles sobem no bonde que leva ao parque de Ueno. Meia hora depois, estão sentados sob as arvores — numa cascata de brancura. Uma paz mysteriosa os envolve. Gosam calados a alvinitente maravilha. Um sopro do vento, eis as petalas chovendo em silencio: a orelha mais fina não lhe ouve a queda. Petalas de flor ou petalas de luar?

\*\*\*

Tomikô, bonita "musmé" de coques lustrosos e com dezeseite annos floridos como as cerejeiras, em que estás pensando, nessa tarde?

Estás mais grave do que de costume. Talvez sintas confusamente, no fundo de tua alma, que existe um sentimento tão forte como o teu amor por teus pae e teus irmãos mas ao mesmo tempo menos tranquillo e mais doce...